

フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山 2

近くの島々は？

1月15日のフンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山の大規模な噴火の被害におどろいているところです。亡くなった方もあります。トンガ王国の皆さんの健勝を祈念するばかりです。

YACかわら版では、EOブラウザを活用したセンチネル2衛星の観測データの分析データをお届けしています。

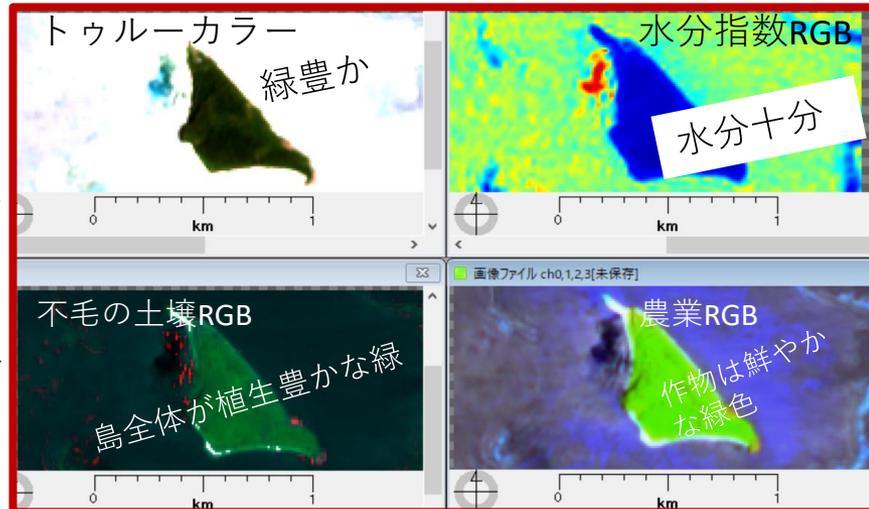
EOブラウザを使用すると、簡単に原典に近いデータにふれ、色合成を工夫して能動的に考えることができるからです。

今回はフンガ・トンガ-フンガ・ハアパイの噴火が、トンガ諸島の島々にどのような影響を与えているか探りましょう。5日毎にセンチネル2衛星は観測しています。

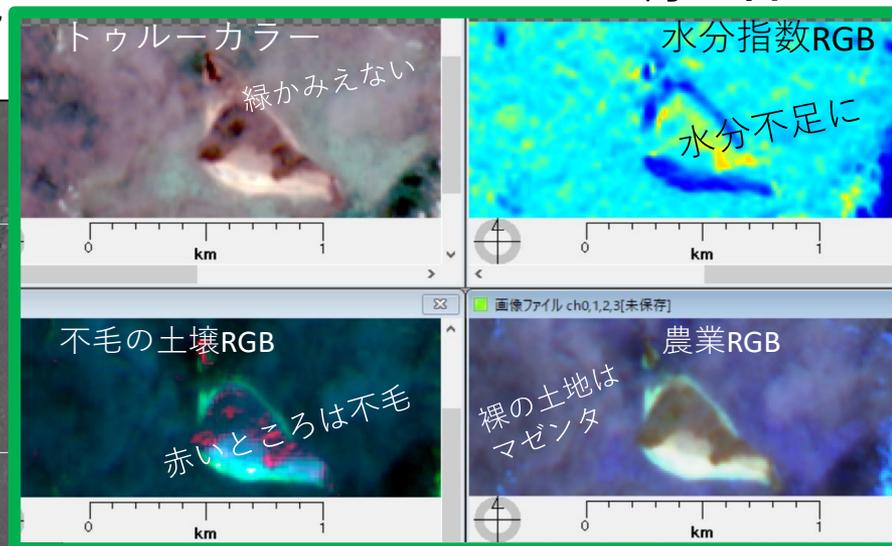
以下4つの島を、噴火前と噴火後のセンチネル2観測データを、トゥルーカラー、水分指数RGB、不毛の土壌RGB、農業RGBの4つの色合成で、噴火・津波の影響を追ってみます。

1 Kelelesia島

12月18日



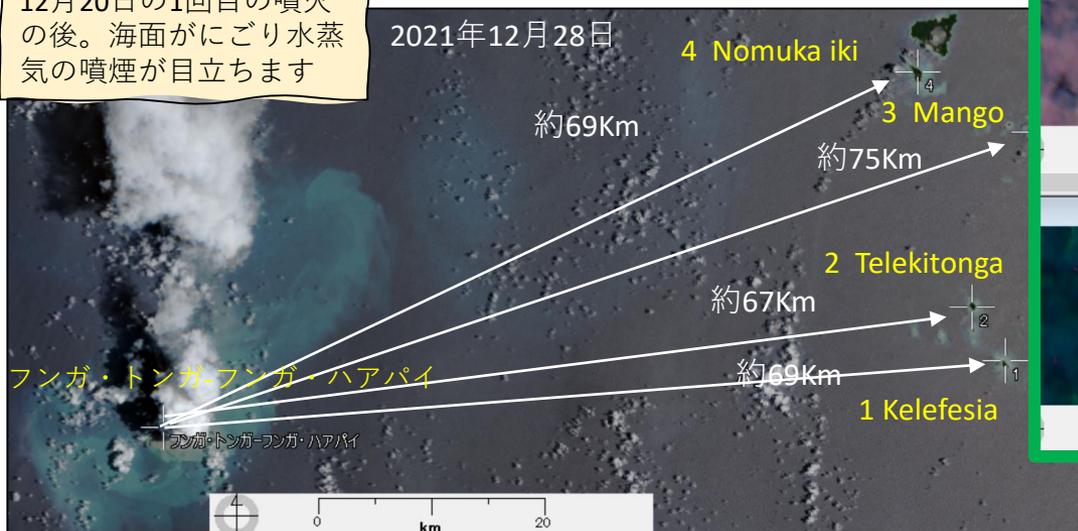
1月22日



12月18日は緑豊かだったKelelesia島の様子が一変しています。どれだけの高さの津波が押し寄せたのでしょうか。

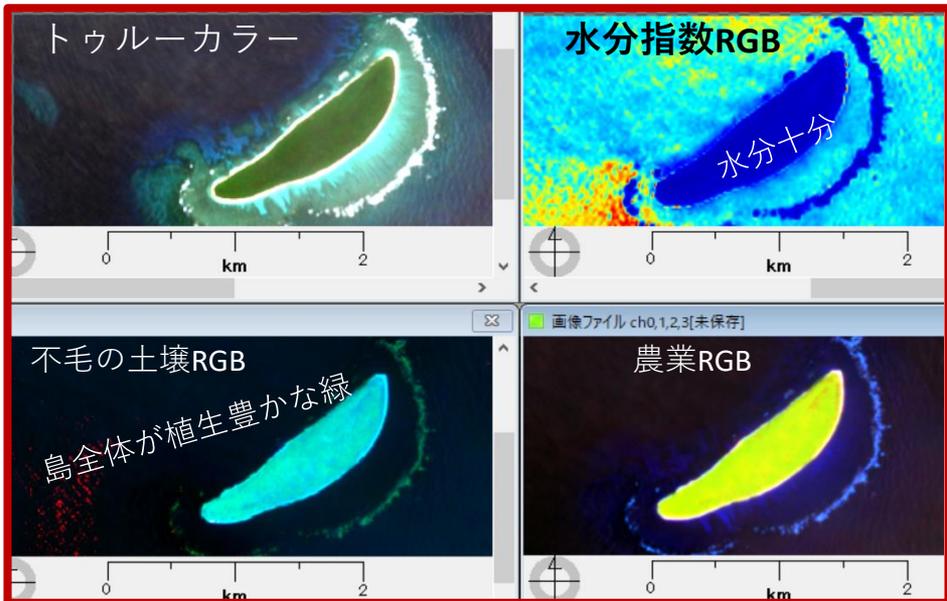
12月20日の1回目の噴火の後。海面がにごり水蒸気の噴煙が目立ちます

2021年12月28日



2 Telekitonga島

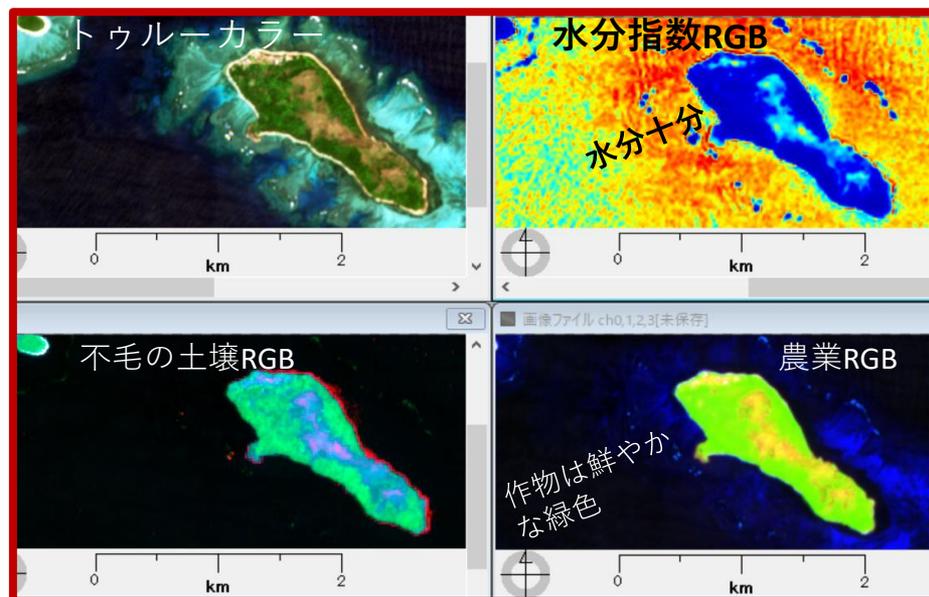
12月18日



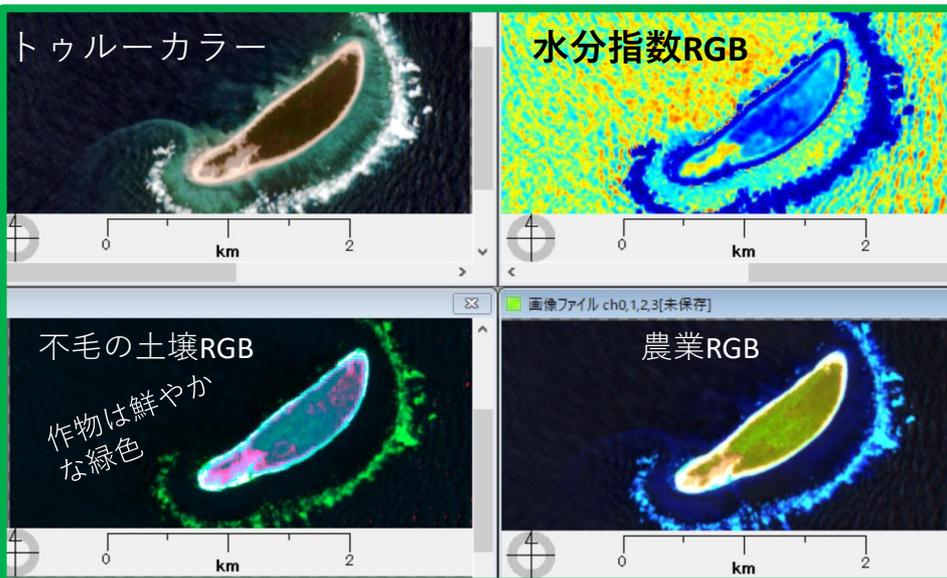
3 Mango島

12月20日

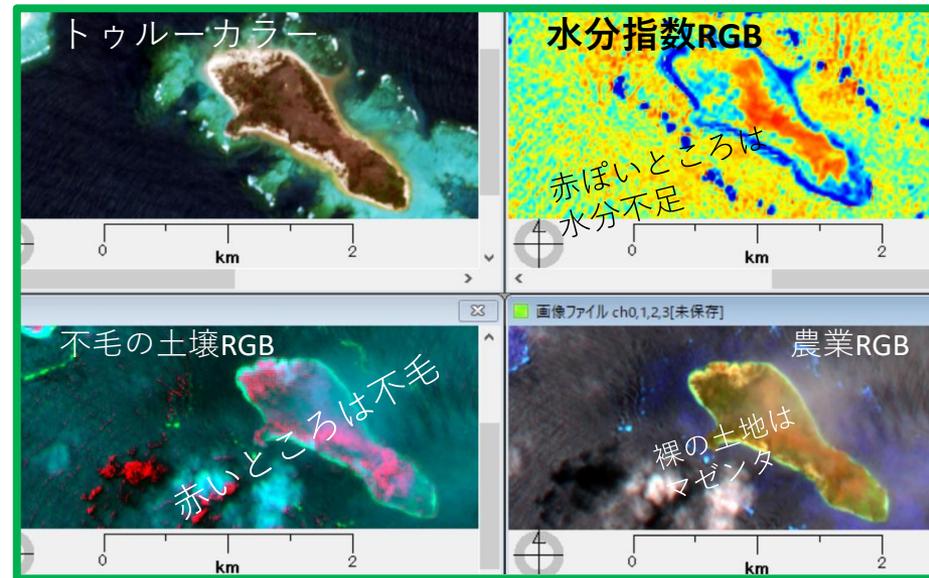
Mango島の家屋は全て被害を受けたと報道されています



1月19日



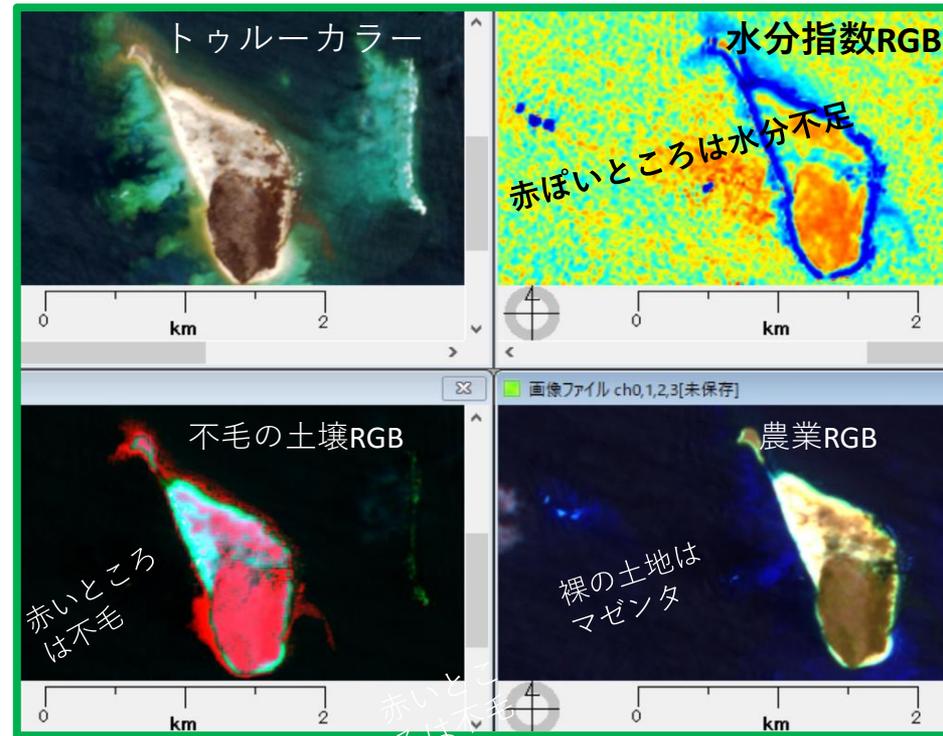
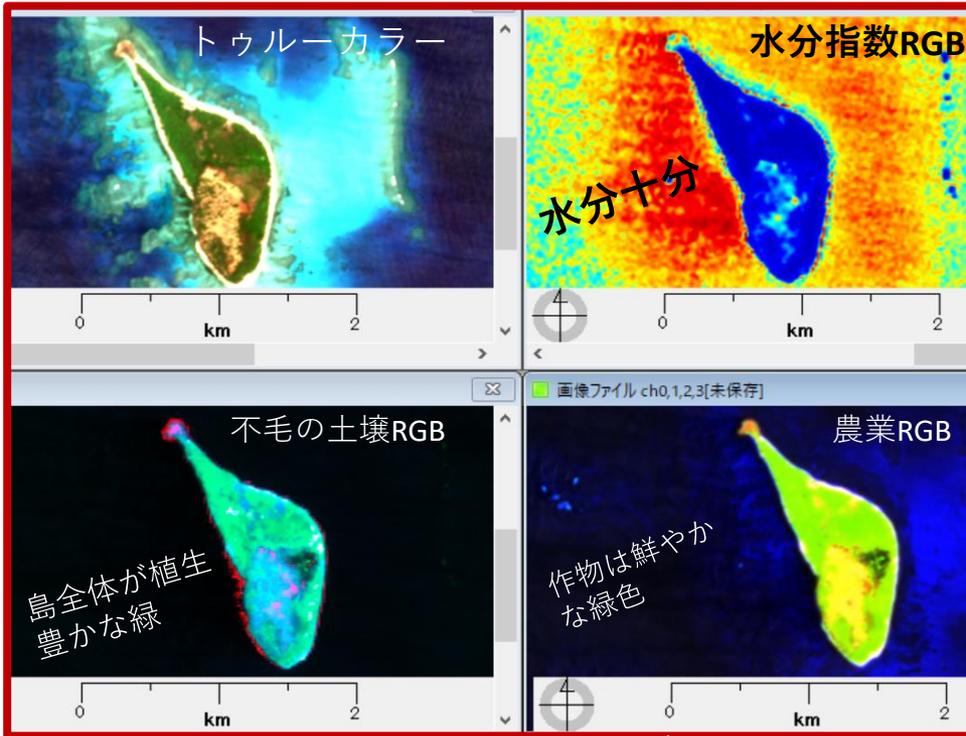
1月22日



4 Nomuka iki島

12月20日

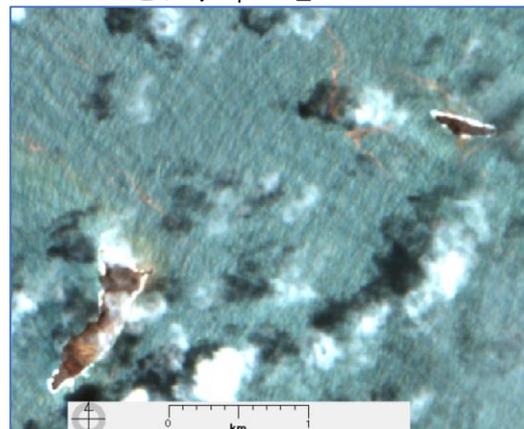
1月19日



取り上げた4つの島もフンガ・トンガ・フンガ・ハアパイに近い方の緑が失われています。色合成の工夫で、どのような変化が起きたのか、ある程度想像できますが、専門家でない私も、報道されている様々な情報を丁寧に読んでいきたいと思っています。

*ここで紹介したセンチネル2データの色合成の説明は不十分なところがありますが、色合成は分析者の判断で展開されます。現地伝実際に生じている事実を反映させていきたいと思っています。

2022-01-17
センチネル2



2022-01-15
センチネル1

